

# 私のワープロ・パソコン歴

横浜市立大学 矢吹 晋

1983年6月、旧ソ連科学アカデミーに招かれ、中国経済について講演した際に、学内の「書院」で、ローマ字名刺手作り（ロシア文字にらず）

1986年夏、OASYS 100Hを導入 [自宅] これで書いた本⇒『チャイナ・ウォッチング』 著者社、1986年、『チャイナ・シンドローム』著者社、1986年、『現代中国の歴史』有斐閣、1988年『中国開放のプレントラスト』著者社、1987年、『改革記中国のイデオロギーと政策』訳、著者社、1987年、『図説・中国の経済水準』著者社、1987年、『ポスト邓小平』著者社、1988年、『中国のペレストロイカ』著者社、1988年、『文化大革命』講談社現代新書、1989年、『チャイナ・クライシス重要文献』3巻、編著（村田忠禧、白石和良と）、著者社、1989年、『天安門事件の真相』上下、編著（村田忠禧、白石和良と）、著者社、1990年

1988年春、niftyserve登録、PDF00411。今年で満8年記念、[自宅]

1988年夏、FAXを導入（現在は二代目で普通紙ファックス）[自宅]

1988年秋、コピー機を導入（現在は二代目）[自宅]。

1989年秋、パソコン通信を利用して出版社に初めて送稿 [自宅から]

1990年冬、FMTOWNS2を導入 [自宅]。これで書いた本⇒『図説・中国の経済』著者社、1992年、英訳China's New Political Economy, Colo. Westview Press, 1995. Winner, Outstanding Academic Book for 1995. 『ペキノロジー』著者社、1991年、『毛沢東と周恩来』講談社、1991年[台湾で海賊版]、『保守派vs改革派』著者社、1991年

1992年秋、OASYS 100HX2 中古品をつなぎとして導入 [自宅]。これで書いた本⇒『邓小平』講談社現代新書、1993年[台湾で海賊版2種類]、『人民解放軍』講談社、近刊予定。『巨大中国の行方』東方書店、近刊予定。

1995年春、FMVDESKPOWERHを導入 [自宅]。

1995年春、研究室に初めてパソコンを導入。これで書いた論文⇒台湾大学シンポジウム

1995年秋、研究室に初めて、オアシス・ビプロを導入。

1996年春、学内ランに接続、yabuki@yokohama-cu.ac.jp

1996年春、日本語版windows95jを導入、ソネットに接続。yabuki@ca2.so-net.or.jp [自宅]

1996年春、中国語版windows95cを導入 [自宅]

1996年春、kato@imasy.or.jp のホームページを借りて、矢吹ゼミのホームページを開設。教授が学生に居候するマンガチックな構図。市立大学にアカウントが欲しい。